

2023

09

September

ツナグ
働き方
研究所

Spot-Work Market Data-Report

スポットワーク マーケット データレポート

2023年
7月度版



スポットワークマーケットを定点観測する意義

○マーケットの定義

スポットワークとは、単発、短時間、短期間で働く「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の2種類に分類されます。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

○マーケットの現状

スポットワーカーは、働き方改革法案の施行、コロナ禍を契機に急増しています。

- 個人) 働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少は、追加で収入を得たいという働き手を増加させました。
 - 企業) 収益確保、生産性向上の観点から、ムダやムラのない=必要な時に必要な数だけ人材を配置する最適化思考が高まりました。
 - 技術) テクノロジーの進化により、タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者が増えました。
- 「単発、短時間、短期間で働く」というワークスタイルは、今後さらに広がりを見せていくことが予見されます。

○定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018年からILO基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加して「単発、短時間、短期間で働く」ことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的には、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした観点からも、スポットワークマーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化することには、おおいに社会的意義がある。我々、ツナグ働き方研究所は、そう考えます。

- 03 概況
- 05 就業構造/未活用労働指標 LU1/LU2/LU3/LU4
- 07 ※追加就労希望就業者推移
- 08 ※広義の失業者/失業率
- 10 スポットワーク求人倍率
- 12 ※職種別・地域別
- 14 スポットワーク新規求人件数推移
- 16 スポットワーク平均賃金
- 18 ※スポットワーク・アルバイト賃金の格差比較
- 19 ※スポットワーク・アルバイト賃金主要職種比較



スポットワーク 求人倍率

前月から+0.21ポイント、
前年同月から-0.35ポイント。

1.83 ↓
倍



地域別 スポットワーク 求人倍率

地域別でみると
東海が3.31倍で、
群を抜いて高い

3.31 ↓
倍
(東海エリア)



職種別 スポットワーク 求人倍率

キャンペーン・PR
系が、10.63倍で
最も高い(前年同月
差+3.39ポイント)

10.63 ↑
倍
(キャンペーン・PR系)



新規 ワーク数

前月比+19.2%、
前年比+3.7%

8.9 ↑
万件



追加就労希望就業者

※2023年4-6月

1-3月差6万人減、
前年同月差13万人減。

181
万人 ↓



広義の失業率※2023年4-6月

労働力人口に占める失業者と
追加就労希望就業者の割合。
対前年で0.2ポイント改善。

5.6 ↓
%



スポットワーク 平均賃金

前月から+6円、
前年同月から+5円。

1,163 ↑
円



アルバイト賃金 との格差

三大都市圏のアルバイト平
均賃金は1,155円、
スポットワークは1,163円。

+8 円



職種最高賃金 (倉庫内軽作業)

スポットワーク主要職種
で、最も賃金が高いのは、
倉庫内・軽作業

1,245 ↑
円

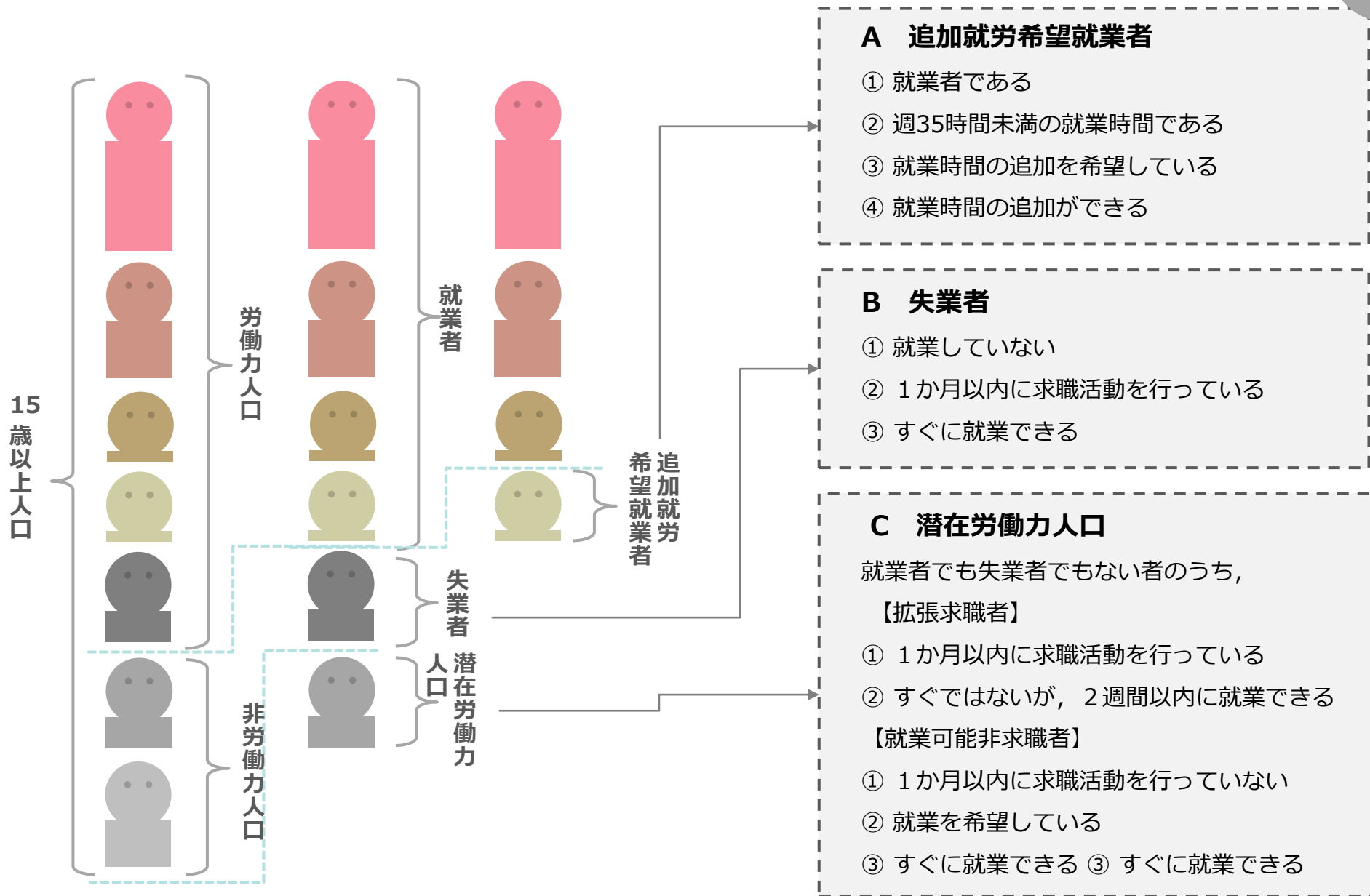


職種賃金格差 (倉庫内軽作業)

アルバイト賃金と比較し
て、最も賃金格差が大き
いのは倉庫内・軽作業

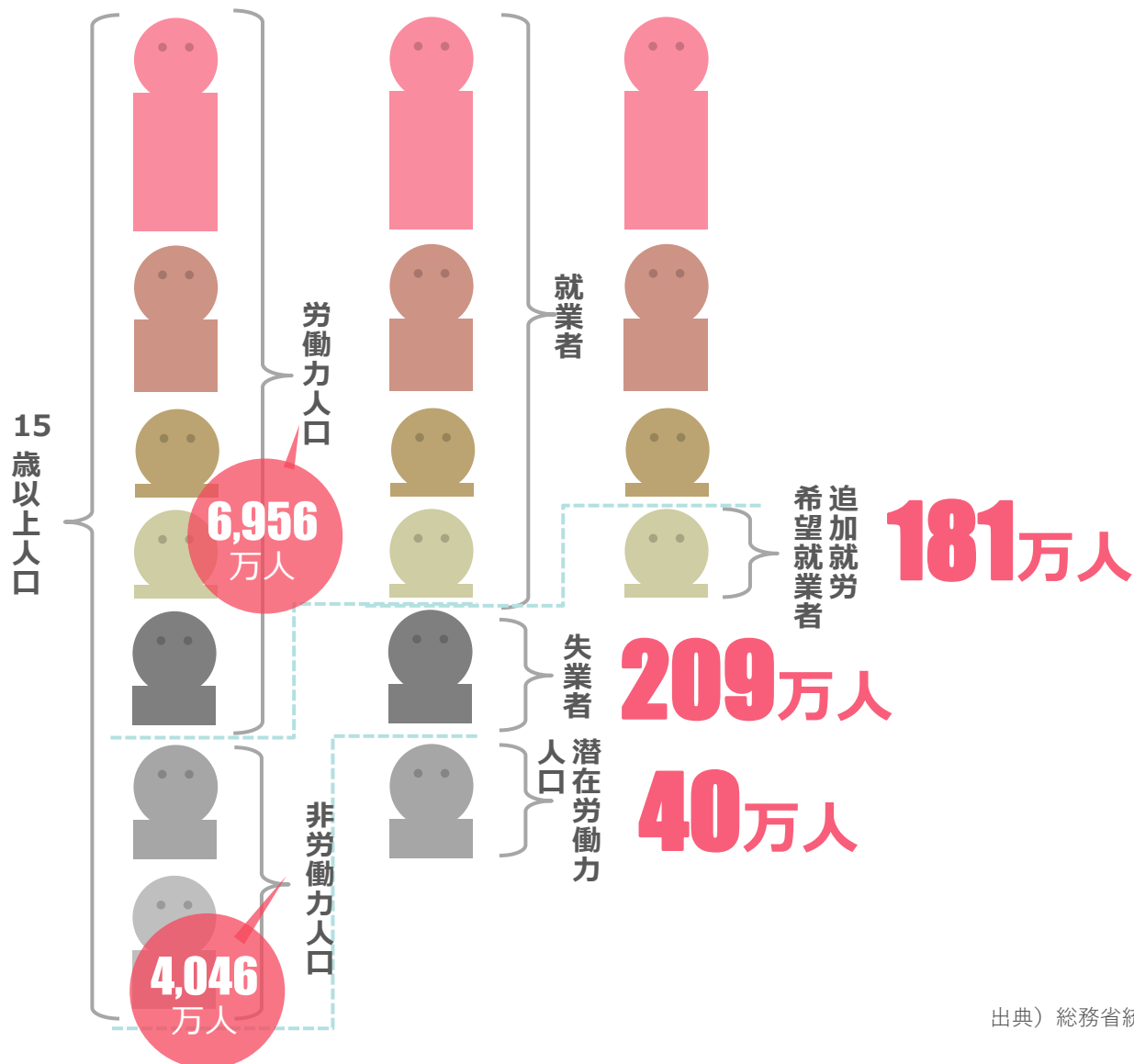
+75 円

スポットワーク労働市場



未活用労働力/2023年4-6月

- 2023年4-6月の失業者は209万人、追加就労希望就業者181万人。
- 失業者は1-3月196万人から13万人増、追加就労希望就業者は1-3月187万人から6万人減。



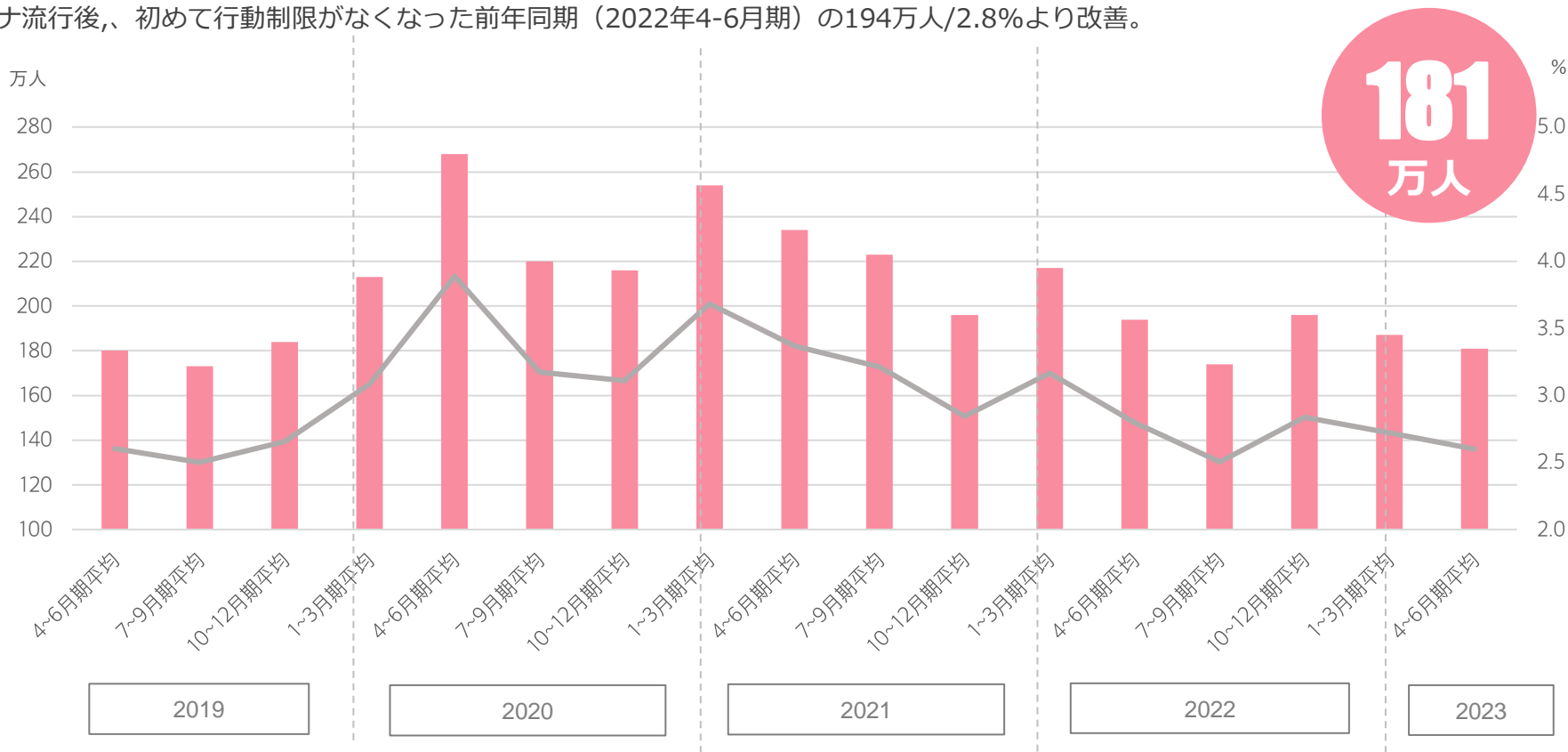
LU: Labour Underutilization (レイバー・アンダーユティリゼーション)

LU1	$\frac{\text{失業者}}{\text{労働力人口}}$	3.0%
LU2	$\frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者}}{\text{労働力人口}}$	5.6%
LU3	$\frac{\text{失業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}}$	3.6%
LU4	$\frac{\text{失業者} + \text{追加就労希望就業者} + \text{潜在労働力人口}}{\text{労働力人口} + \text{潜在労働力人口}}$	6.1%

出典) 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2023年(令和5年)4~6月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>

追加就労希望就業者推移（季節調整値） / 2019年4月～2023年6月

- 例年のトレンド通り、4-6月期は1-3月期より減少傾向にあるため、2023年4-6月期は前四半期より6万人減少。
- コロナ流行後、初めて行動制限がなくなった前年同期（2022年4-6月期）の194万人/2.8%より改善。



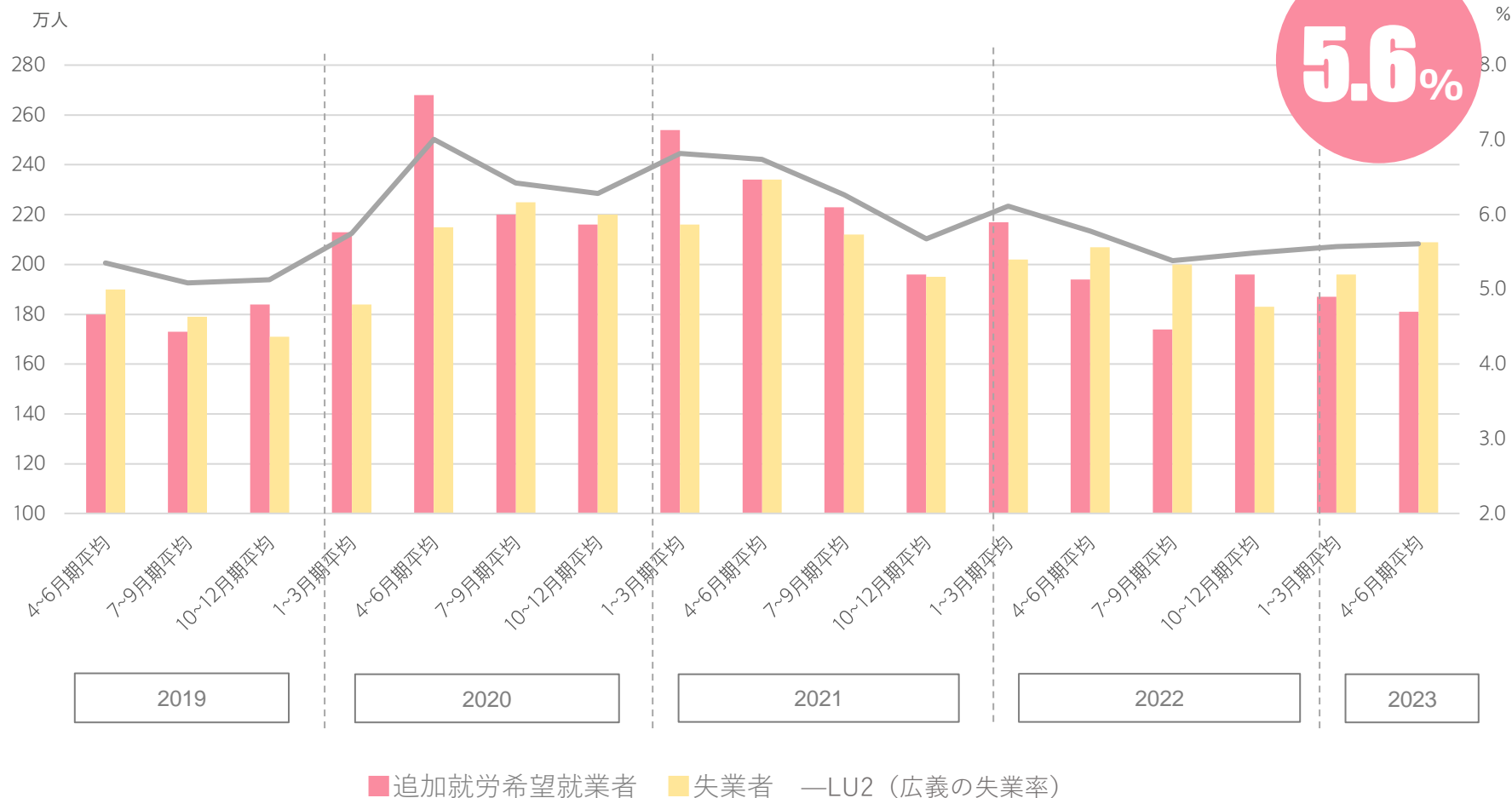
181
万人

	2019年			2020年			2021年				2022年			2023年			
	4-6月期平均	7-9月期平均	10-12月期平均	1-3月期平均	4-6月期平均	7-9月期平均	10-12月期平均	1-3月期平均	4-6月期平均	7-9月期平均	10-12月期平均	1-3月期平均	4-6月期平均	7-9月期平均	10-12月期平均	1-3月期平均	4-6月期平均
追加就労希望就業者	180	173	184	213	268	220	216	254	234	223	196	217	194	174	196	187	181
追加就労希望就業者率	2.6	2.5	2.7	3.1	3.9	3.2	3.1	3.7	3.4	3.2	2.8	3.2	2.8	2.5	2.8	2.7	2.6

出典) 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2023年(令和5年)4～6月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>

参考) 広義の失業者/失業率 (季節調整値) /2019年4月~2023年6月

- 失業者と追加就労希望就業者を足した「広義の失業者」は390万人。LU2にあたる「広義の失業率」は5.6%。
- 1-3月の383万人から7万人増。内訳は、失業者が13万人増、追加就労希望就業者が6万人減。

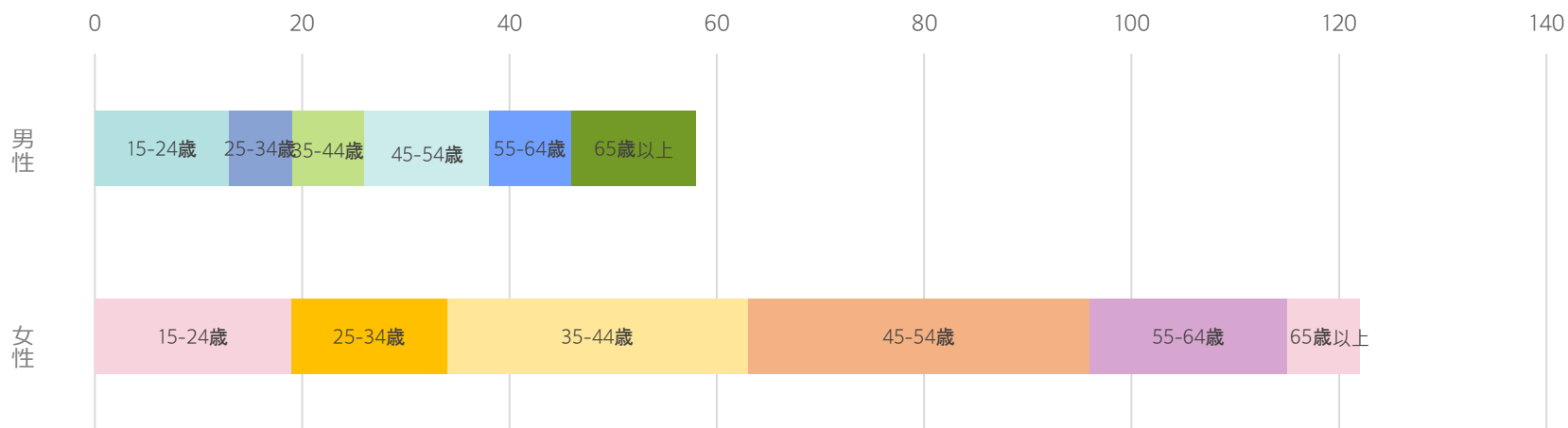


出典) 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2023年(令和5年)4~6月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>

追加就労希望就業者 男女別×年齢階級別（季節調整値） /2023年4-6月



- 男女別では、男性59万人/女性123万人と、女性が全体の68%を占める。年齢階級別のボリュームゾーンは45-54歳の46万人。
- 前年同月差では、全体は-13万人。性別は男性-10万人/女性-1万人。年齢階級別では男女とも25-34歳の減少が顕著。



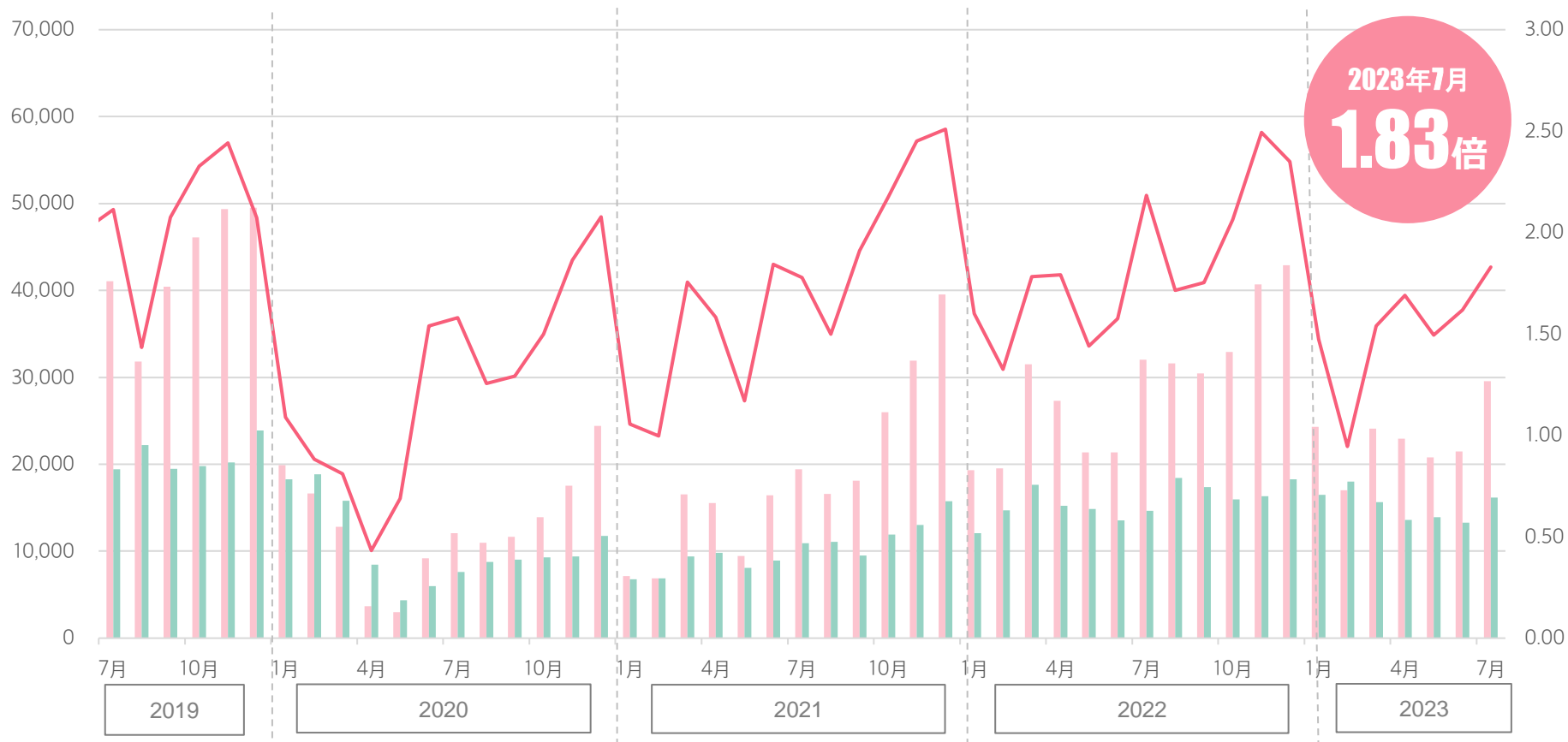
	総計	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
男女計	181	32	22	36	46	26	19
男性	59	13	6	7	12	8	12
女性	123	19	15	29	33	19	7
前年同月比							
男女計	-13	6	-8	0	-1	-4	-5
男性	-10	1	-4	0	-1	-2	-4
女性	-1	5	-5	1	-1	-1	-1

出典) 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」2023年(令和5年)4～6月期平均を加工
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/>

スポットワーク求人倍率

スポットワーク求人倍率の推移

■ 2023年7月度のスポットワーク求人倍率は1.83倍。（前月差+0.21ポイント、前年差-0.35ポイント）



	当月		前月差	前年同月差	前月		前年同月
— 求人倍率	1.83	倍	0.21	-0.35	1.62	倍	2.18 倍
■ 求人数	29,543	件	37.7%	-7.7%	21,457	件	32,018 件
■ 求職者数	16,156	人	21.8%	10.1%	13,268	人	14,671 人

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2019年7月～2023年7月データを加工
 ■ 求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■ 求職者数：当月登録UU数+前月以前登録者の応募UU数

参考) 職種別スポットワーク求人倍率

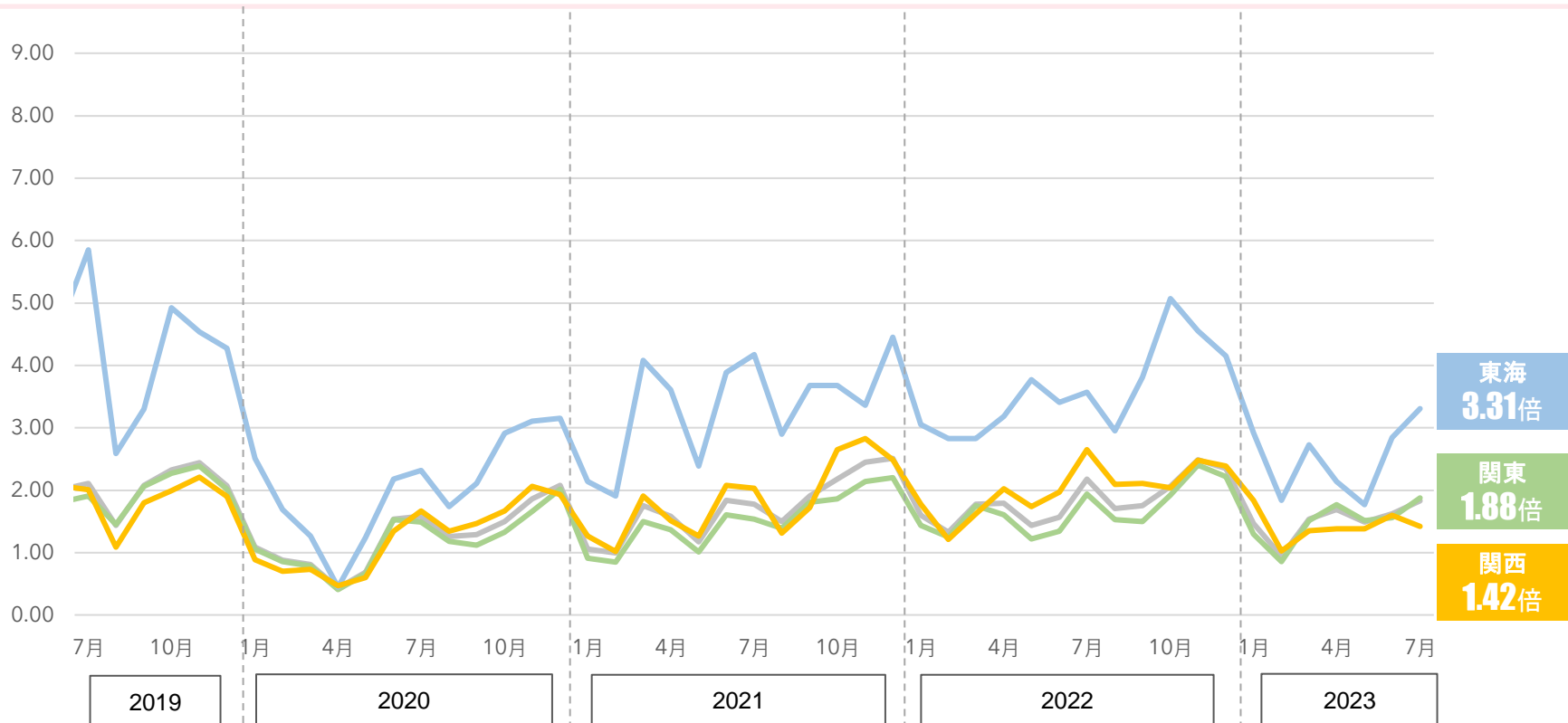
職種名	2019	2020	2021	2022	2023	前年差
	7月	7月	7月	7月	7月	
イベントスタッフ	1.33	1.11	0.91	1.29	1.39	0.10
飲食・フード	1.96	6.95	2.20	1.61	1.58	-0.03
倉庫内・軽作業	1.61	1.50	1.71	2.17	1.49	-0.68
組立工	2.50	3.13	2.34	3.26	2.25	-1.01
コンビニスタッフ	5.78	4.79	5.47	7.88	7.35	-0.53
キャンペーン・PR系	6.72	6.87	10.70	7.24	10.63	3.39
運送・ドライバー系	2.86	3.16	3.32	4.37	6.36	1.99

職種名	2022	2022	2022	2022	2022	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	前月差
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
イベントスタッフ	1.29	0.86	1.11	1.22	1.24	1.28	1.00	0.50	0.85	1.05	1.17	0.95	1.39	0.44
飲食・フード	1.61	1.63	1.58	2.21	2.78	2.60	1.02	0.76	1.75	1.46	0.97	1.23	1.58	0.35
倉庫内・軽作業	2.17	1.68	1.65	2.05	2.51	2.13	1.28	0.91	1.36	1.51	1.31	1.38	1.49	0.11
組立工	3.26	2.46	2.24	2.54	2.97	2.49	2.00	1.14	1.83	2.45	1.61	1.58	2.25	0.67
コンビニスタッフ	7.88	7.22	6.18	6.42	6.91	8.06	6.79	5.15	6.18	7.89	6.88	6.98	7.35	0.37
キャンペーン・PR系	7.24	10.91	8.66	17.11	19.49	12.75	6.38	3.32	6.63	5.65	6.55	13.76	10.63	-3.13
運送・ドライバー系	4.37	4.50	4.73	6.94	10.05	8.54	4.48	1.69	4.40	7.81	6.27	6.05	6.36	0.31

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2019年7月～2023年7月データを加工

■ 求人数: ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■ 求職者数: 当月登録UU数+前月以前登録者の応募UU数

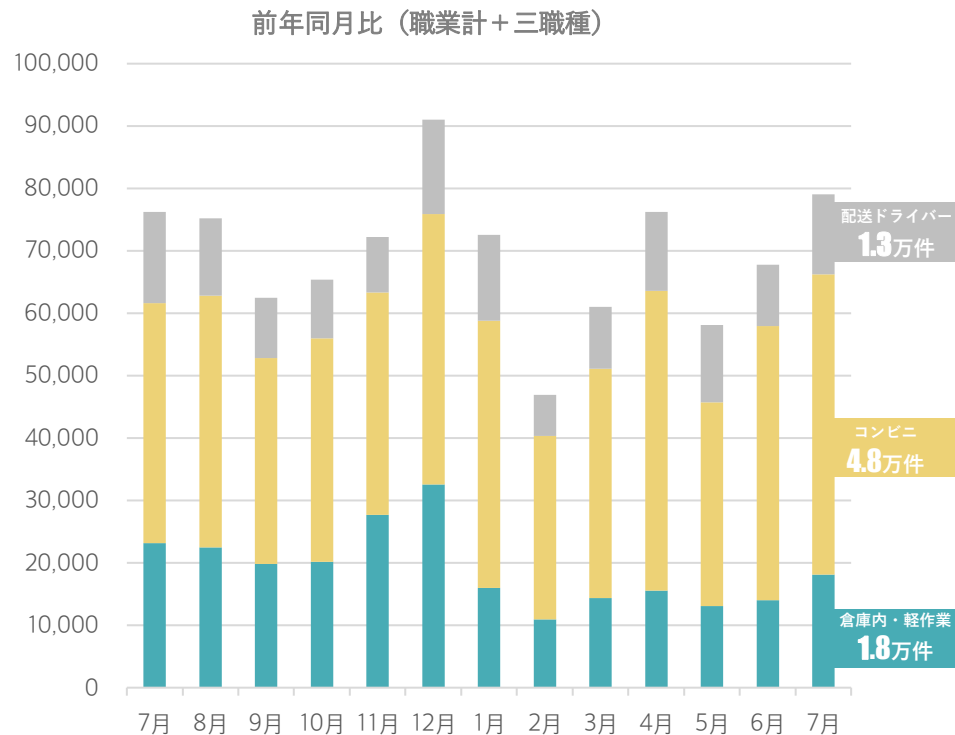
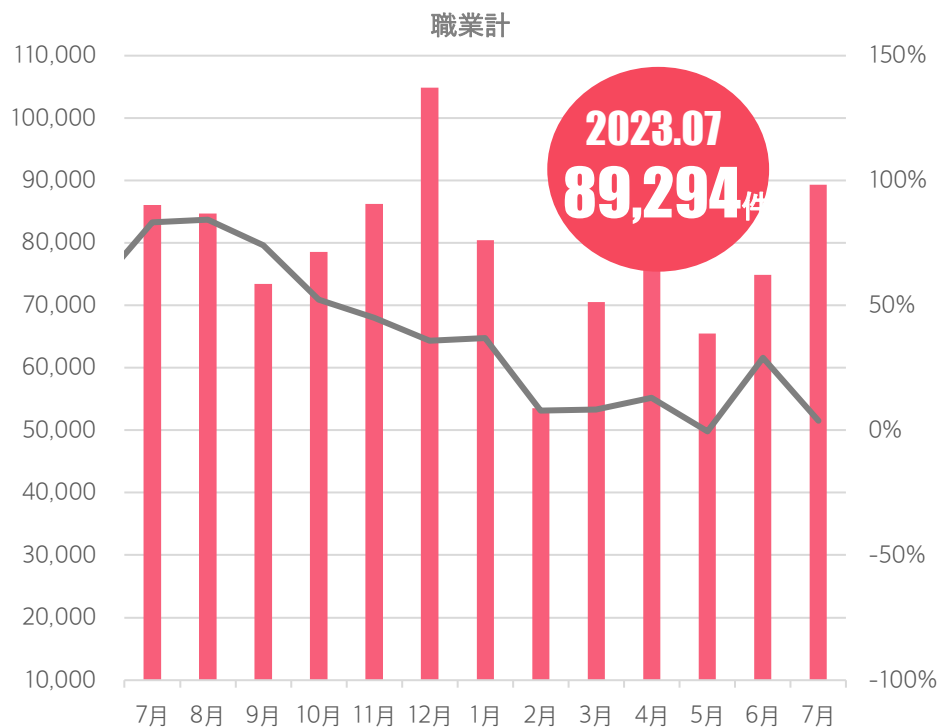
参考) 地域別 スポットワーク求人倍率推移



		■全国	■関東	■東海	■関西
求人倍率	当月	1.83	1.88	3.31	1.42
	前月差	↗	↗	↗	↘
	前年同月差	↘	↘	↘	↘
	前月	1.62	1.56	2.84	1.6
	前年同月	2.18	1.94	3.57	2.65

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2019年7月～2023年7月データを加工
 ■ 求人数: ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■ 求職者数: 当月登録UU数+前月以前登録者の応募UU数

■ 景気の先行指標とも言われる新規ワーク数は、前月差+14,368件の89,294件。

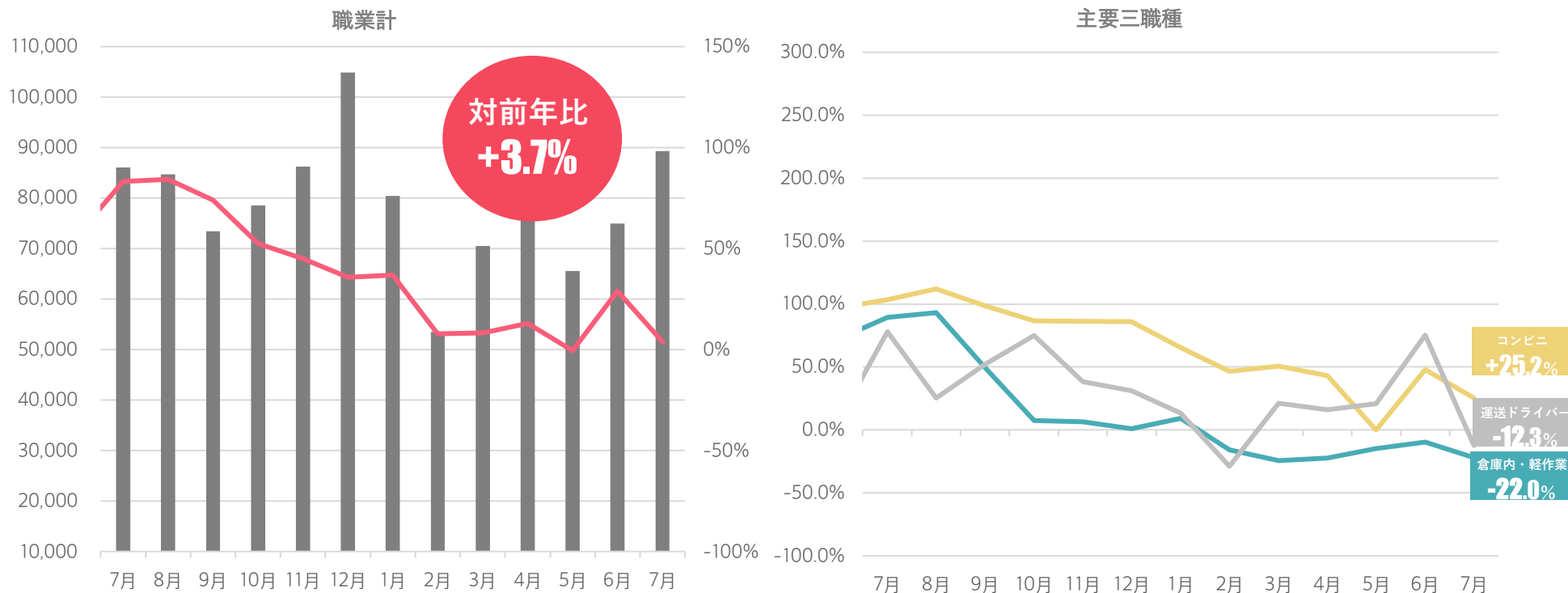


	当月	構成比	前月比	前月	前年同月比	前年同月
■ 職業計	89,294 件	100.0%	19.2%	74,926 件	3.7%	86,105 件
■ イベントスタッフ	2,946 件	3.3%	146.1%	1,997 件	7.1%	2,751 件
■ 飲食・フード	906 件	1.0%	2.4%	885 件	103.1%	446 件
■ 倉庫内・軽作業	18,107 件	20.3%	29.3%	14,003 件	-22.0%	23,200 件
■ 組立工	982 件	1.1%	-2.0%	1,002 件	-39.2%	1,616 件
■ コンビニスタッフ	48,093 件	53.9%	9.4%	43,959 件	25.2%	38,400 件
■ キャンペーン・PR系	1,063 件	1.2%	1.6%	1,046 件	33.7%	795 件
■ 運送・ドライバー系	12,811 件	14.3%	30.9%	9,790 件	-12.3%	14,606 件

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2022年7月～2023年7月データを加工

職種別新規ワーク数伸び率推移

- 新規ワーク数は、前月比+19.2%、前年比+3.7%。
- 主要職種の伸び率では、コンビニスタッフが前年比+25.2%の伸び。



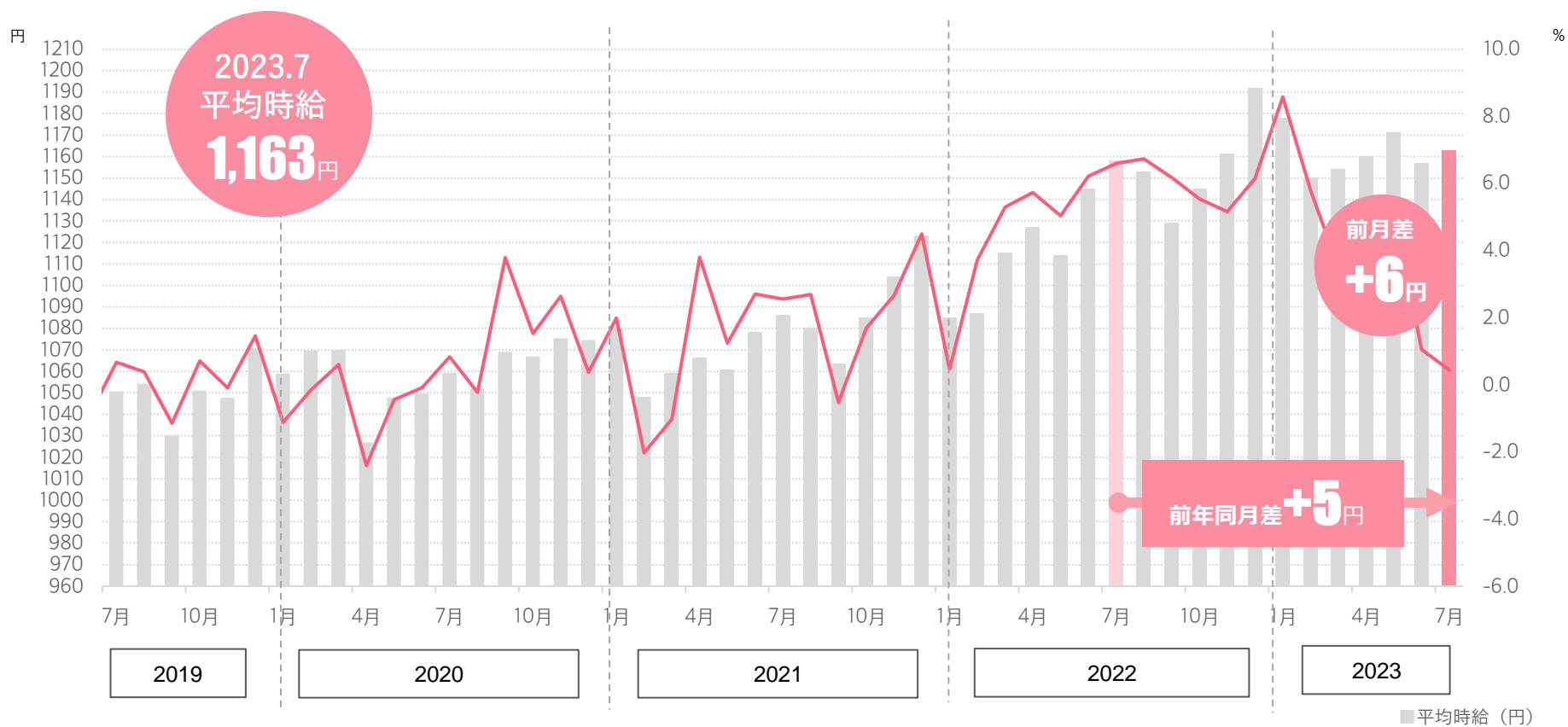
	当月	構成比	前月比	前月	前年同月比	前年同月
■ 職業計	89,294 件	100.0%	19.2%	74,926 件	3.7%	86,105 件
■ イベントスタッフ	2,946 件	3.3%	146.1%	1,977 件	7.1%	2,751 件
■ 飲食・フード	906 件	1.0%	2.4%	885 件	103.1%	446 件
■ 倉庫内・軽作業	18,107 件	20.3%	29.3%	14,003 件	-22.0%	23,200 件
■ 組立工	982 件	1.1%	-2.0%	1,002 件	-39.2%	1,616 件
■ コンビニスタッフ	48,093 件	53.9%	9.4%	43,959 件	25.2%	38,400 件
■ キャンペーン・PR系	1,063 件	1.2%	1.6%	1,046 件	33.7%	795 件
■ 運送・ドライバー系	12,811 件	14.3%	30.9%	9,790 件	-12.3%	14,606 件

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2022年7月～2023年7月データを加工

スポットワーク賃金推移

スポットワーク平均賃金の推移

■ 2023年7月度のスポットワーク平均時給（首都圏・関西圏・東海圏の三大都市圏）は1,163円（前月差+6円、前年同月差+5円）。

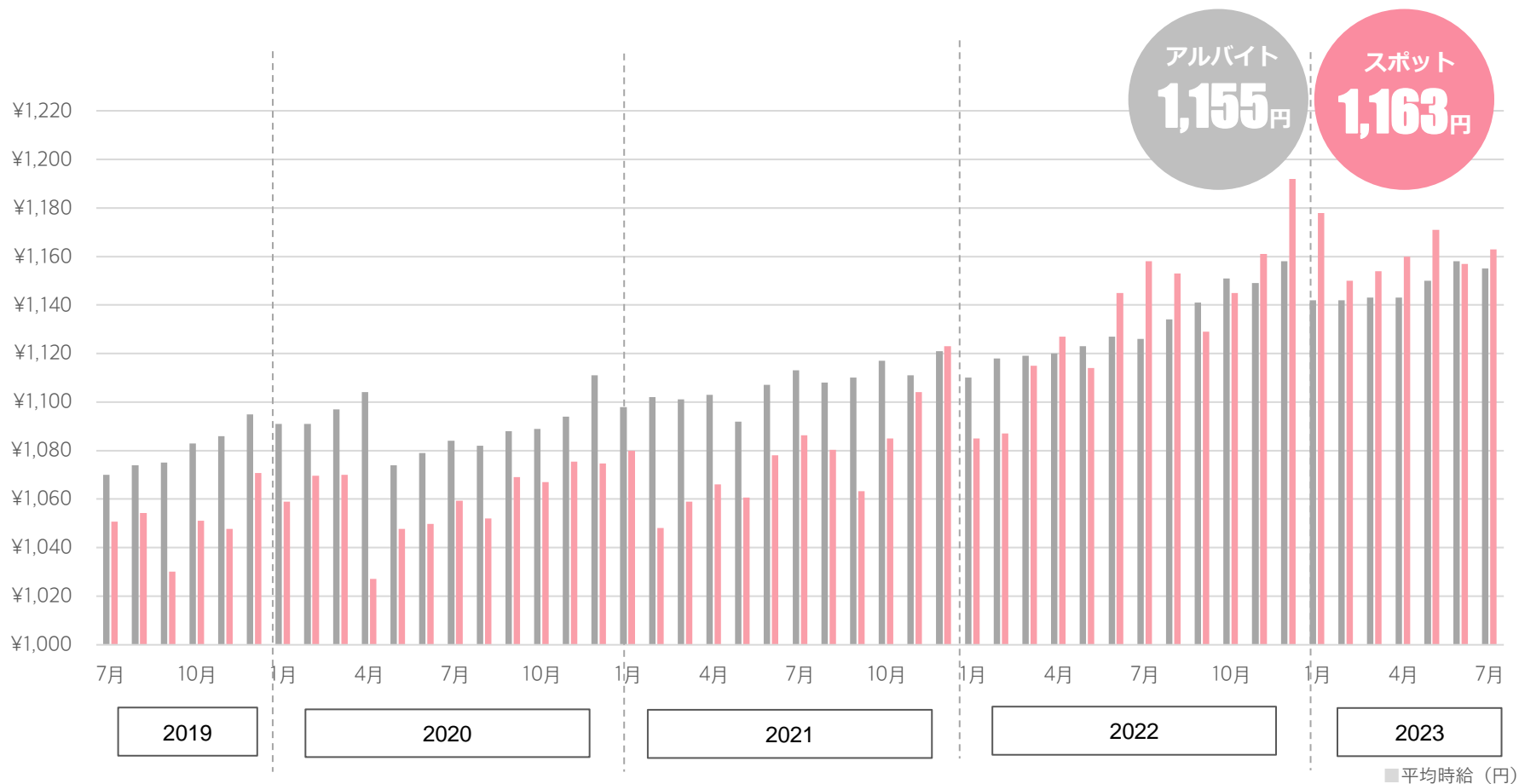


	平均時給	前月差	前年同月差	前月	前年同月
三大都市圏	1163円	6円	5円	1157円	1158円
首都圏	1174円	11円	21円	1163円	1153円
東海	1082円	-41円	-30円	1123円	1112円
関西	1136円	2円	21円	1134円	1115円

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均時給2019年7月～2023年7月データを加工

スポットワーク・アルバイト賃金の格差比較

- 通常のアルバイト平均時給（※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」）と比較して、スポット時給は8円高い。
- 前月8か月ぶりにアルバイト時給が上回ったが、再びスポット時給が逆転。



	平均時給	前月差	前年同月差	前月	前年同月
スポット	1163円	6円	5円	1157円	1158円
アルバイト	1155円	-3円	29円	1158円	1126円

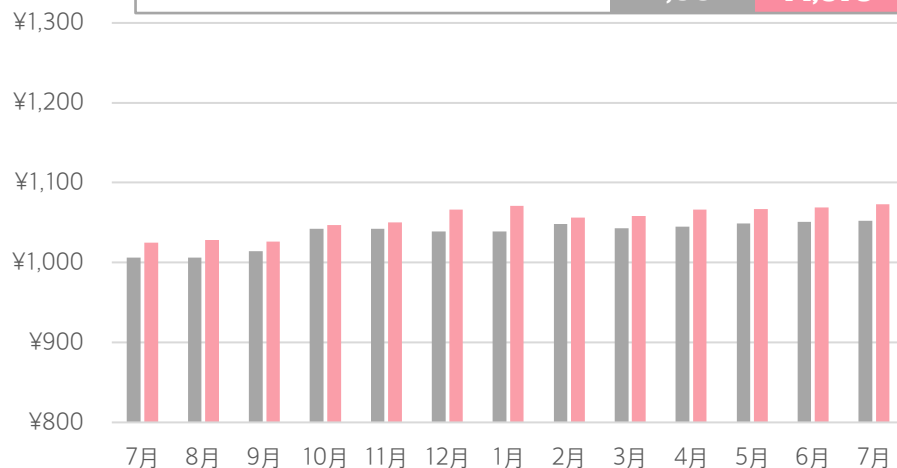
出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均時給2019年7月～2023年7月データ
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2019年7月～2023年7月を加工

参考) スポットワーク・アルバイト賃金主要職種比較

コンビニ

アルバイト
¥1,052

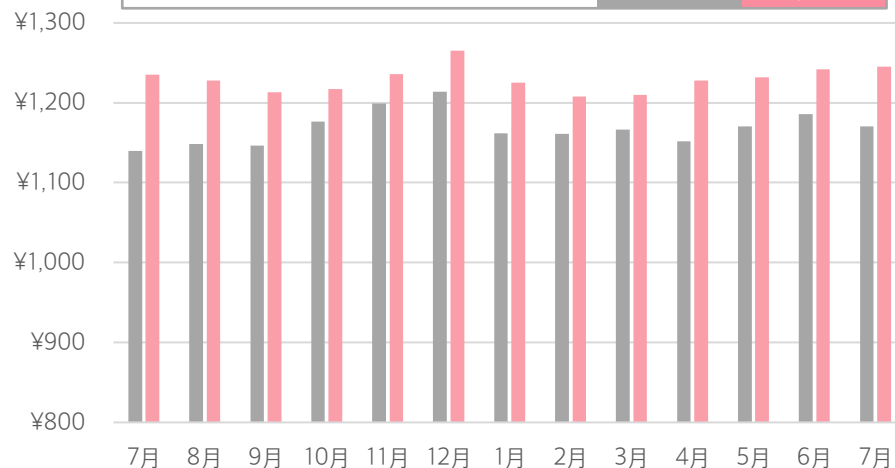
スポット
¥1,073



倉庫内・軽作業

アルバイト
¥1,170

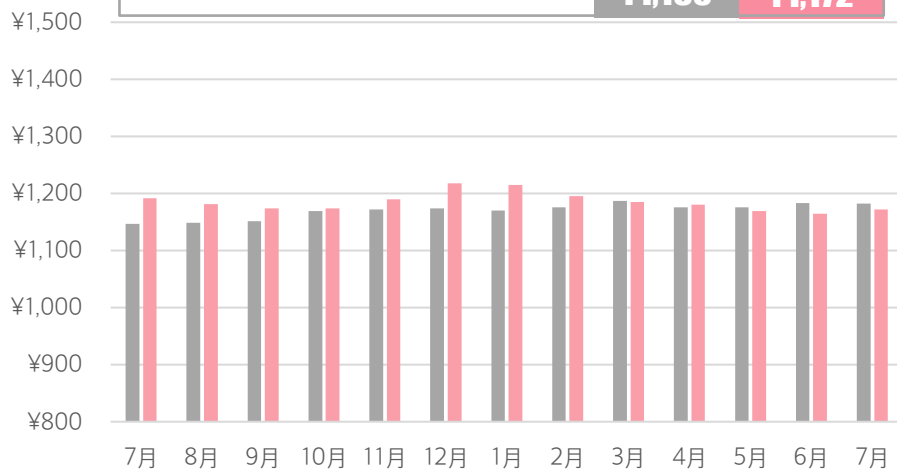
スポット
¥1,245



運送・ドライバー

アルバイト
¥1,183

スポット
¥1,172



出典) 単発/バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均時給2019年7月～2023年7月データ
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2019年7月～2023年7月を加工

注) アルバイト賃金の「コンビニ」はリクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」における「コンビニスタッフ」を適用
「運送・ドライバー」は「ドライバー・配送・デリバリー」「ドライバー(中型・大型・バス・タクシー)」の平均値を適用
「倉庫内・軽作業」は「物流作業」「発送・仕分け・梱包」の平均値を適用